

AOI TYO Holdings

2020年12月期 第2四半期

決算説明資料（速報版）

2020年8月

AOI TYO Holdings株式会社

目次

1. 連結決算概要
2. Appendix - 株式情報等

1. 連結決算概要

新型コロナウイルス感染症への対応

2月～

広告映像制作における撮影・編集等の業務は「3密」に該当する
場合も多く、段階的に感染拡大防止対策を講じた

日本政府の
緊急事態宣言
発令下

(4/7～5/25)

撮影・編集スタジオの臨時休業や、撮影を伴う案件の広告会
社・広告主に対する延期要請等の措置を講じた

緊急事態宣言
解除後

(5/25～)

医療コーディネート会社とアドバイザー契約を締結、ガイド
ラインを作成し、感染拡大防止対策を講じた上で、撮影・編集
等の業務を再開

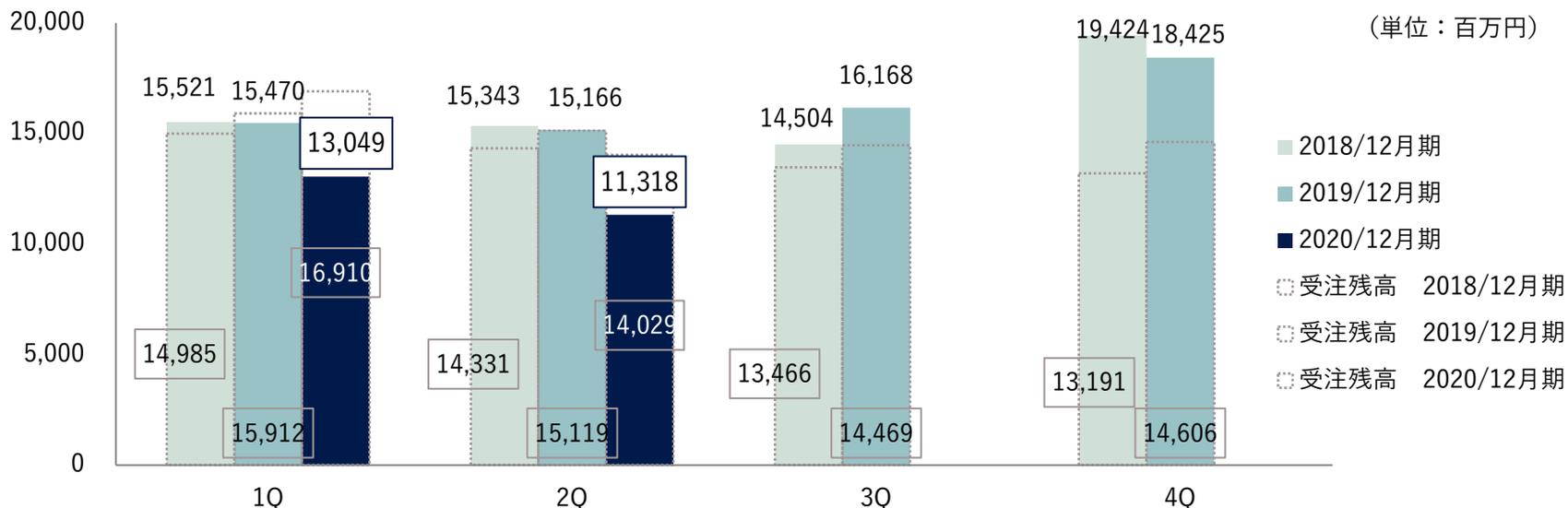
連結決算ハイライト

- 売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大きく減少
- 利益面でも、売上高の減少が大きく響き、各段階利益は損失を計上

単位：百万円	2018年12月期 2Q	2019年12月期 2Q	2020年12月期 2Q	前期比
売上高	30,864	30,636	24,367	△ 6,269
営業利益	1,746	816	△ 881	△ 1,697
経常利益	1,680	637	△ 1,047	△ 1,685
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,170	257	△ 956	△ 1,213
EBITDA	2,357	1,531	△ 313	△ 1,845

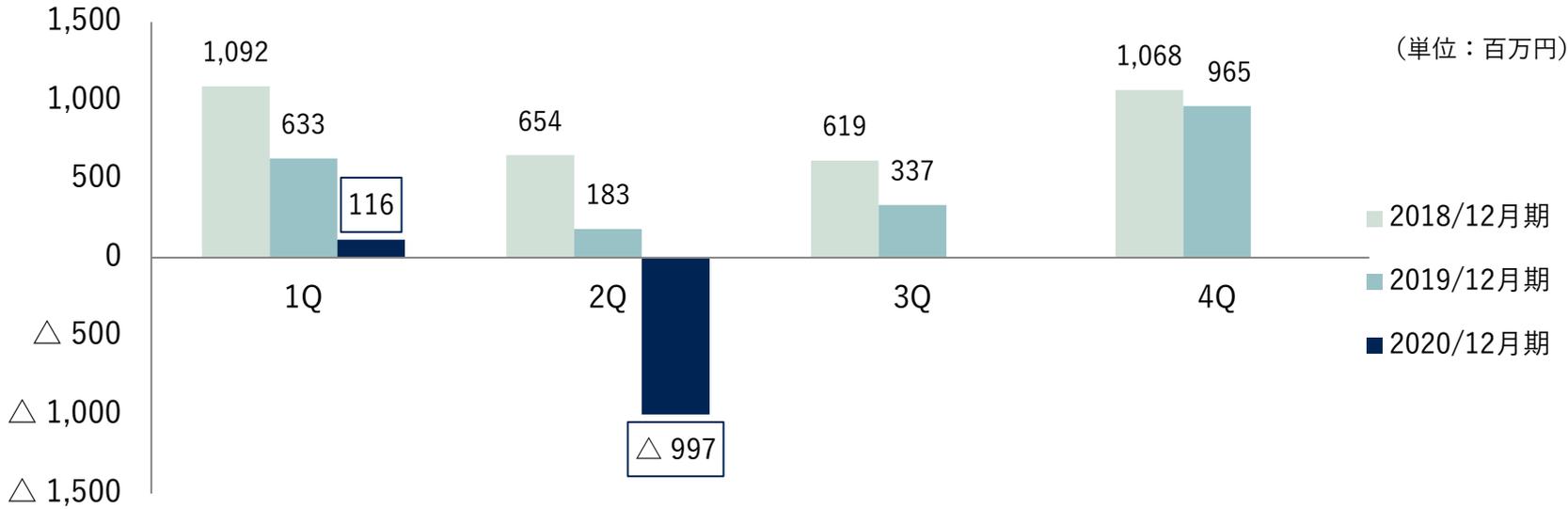
四半期別売上高推移と受注残高

- 新型コロナウイルスの影響による各種案件の延期・中止に伴う売上減は、5,400百万円程度（うち7割程度は3Q以降への延期）
- 緊急事態宣言下の経済活動の停止、先行きの不透明感等により受注高も大きく落ち込み、当2Q末の受注残高は、14,029百万円（前年同四半期末比7.2%減）



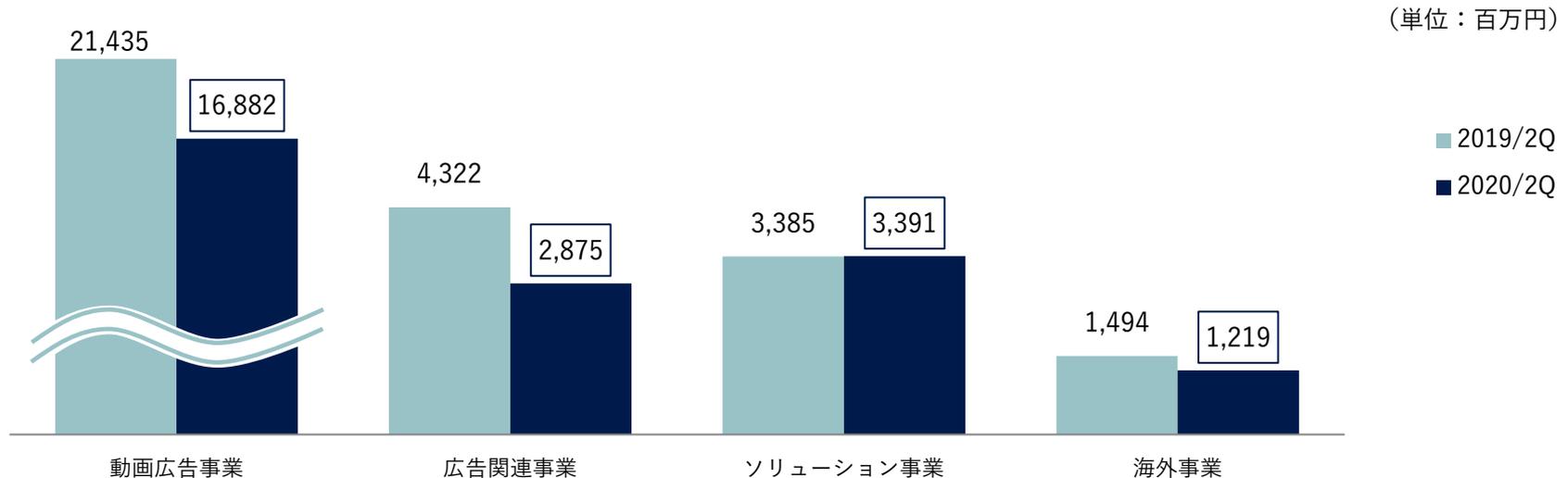
四半期別営業利益推移

■ 2Qの営業利益は、前年度に減損損失を計上したソフトウェアや業績不振子会社等の整理に係る費用が削減されているものの、売上高の減少により損失を計上



事業区分別売上高

- ソリューション事業は前年同期並みの売上高を確保したものの、新型コロナウイルスの影響により動画広告事業が大きく落ち込み、広告関連事業も各種イベントの中止・延期により減少

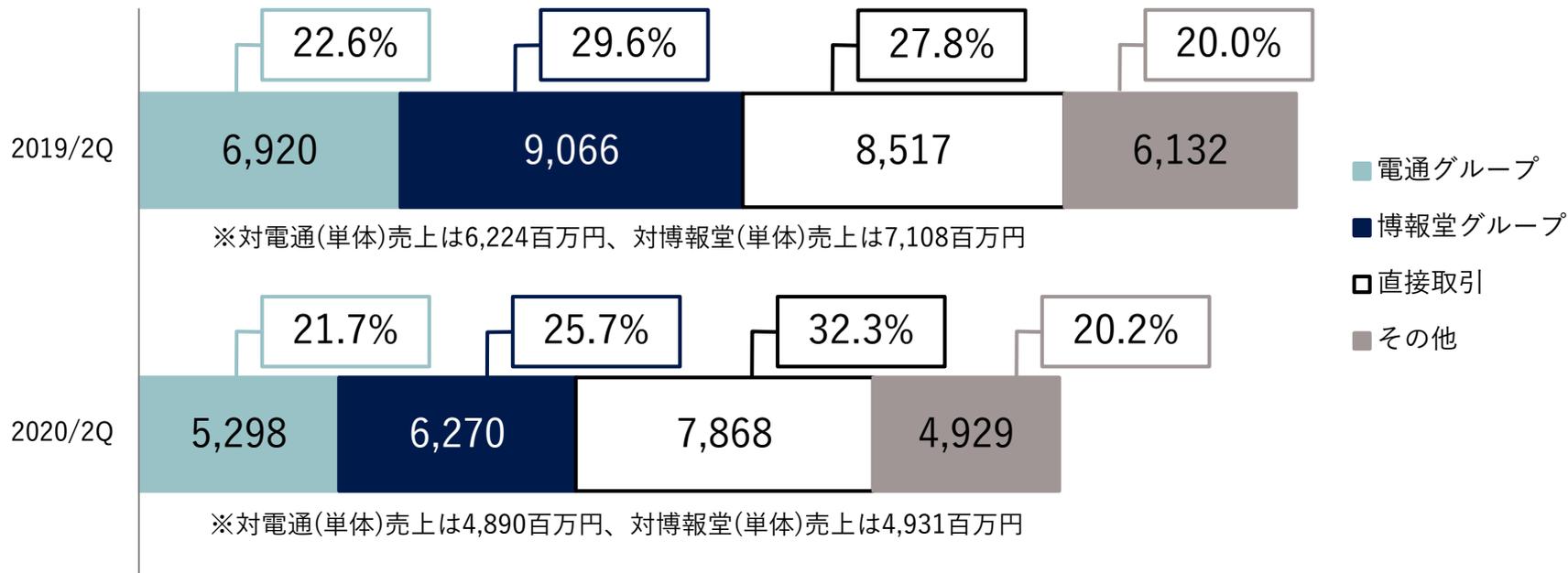


各事業区分の概要

事業	概要
動画広告事業	テレビCM、オンライン動画などの広告映像の企画・制作
広告関連事業	映画やドラマ、イベントの企画制作及びデジタルコンテンツ、販促物、ミュージックビデオの制作
ソリューション事業	顧客の問題解決のための施策提供 (広告主直接取引、動画コンテンツマーケティングなど)
海外事業	東南アジアを中心に展開している海外拠点における事業及び海外プロダクションから受注する映像制作

顧客別売上高

(単位：百万円)



媒体別売上高

(単位：百万円)

単位：百万円	2019年12月期 2Q	構成比	2020年12月期 2Q	構成比	前期比
テレビCM制作	18,169	58.6%	14,106	57.3%	△ 4,063
CM	17,367	56.0%	13,596	55.2%	△ 3,771
プリント	803	2.6%	511	2.1%	△ 292
エンタテインメントコンテンツ	1,046	3.4%	1,128	4.6%	81
デジタルコンテンツ	6,402	20.6%	5,782	23.5%	△ 620
海外	1,491	4.8%	1,082	4.4%	△ 409
その他	3,908	12.6%	2,541	10.3%	△ 1,367
合計	31,017	100.0%	24,639	100.0%	△ 6,378

※(株)AOI Pro.及び(株)ティー・ワイ・オーの連結業績の単純合算数値を掲載

連結貸借対照表サマリー

- 現金及び預金 13,307百万円、流動比率は 277.2%と高い水準
- 複数の金融機関との間で 120 億円のコミットメントラインを締結しており、流動性を十分に確保している状況 (2020年6月末・利用残高0億円)

単位：百万円	2019年12月期	2020年12月期 2Q	主な増減要因
流動資産	36,003	32,572	現金及び預金+4,196、受取手形及び売掛金△8,846、電子記録債権+1,628
固定資産	17,348	17,000	
資産合計	53,352	49,573	
流動負債	18,343	11,751	買掛金△4,637、短期借入金△3,200
固定負債	11,645	15,871	長期借入金+4,281
負債合計	29,988	27,622	
純資産合計 (総資産に対する比率)	23,363 (43.8%)	21,951 (44.3%)	利益剰余金△1,242
負債純資産合計	53,352	49,573	

今後の見通し

足元

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みが経済活動を抑制、国内外の経済情勢・企業収益の悪化に伴い、企業の広告需要は減少



受注高は2Qがボトムになるものの、現時点においては、3Q・4Qの大幅な回復を見込むのは難しい

中長期

企業と生活者のエンゲージメントを深めるための映像を中心とするコミュニケーションツールの企画・制作に対するニーズが高まっていく



当社グループにとっては、拡大のチャンスであり、コスト削減も含めた中期的な事業戦略の検討を進めている

連結業績予想の算出、中長期的な事業計画の策定は最終の調整段階にあり、完了次第、公表する予定

2. Appendix

- 株式情報等

グループ系統図



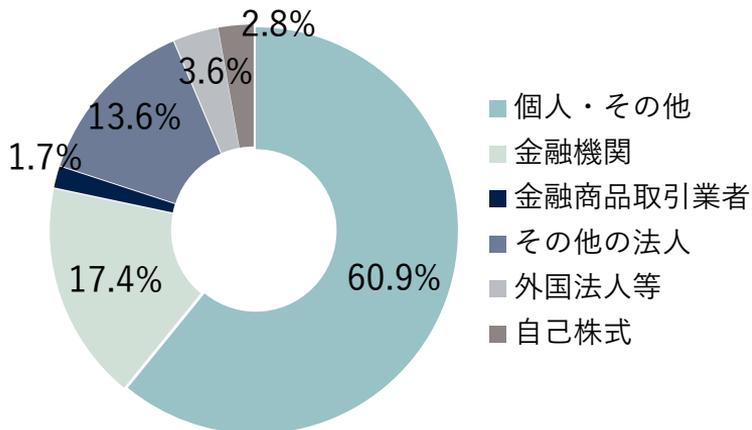
株式・株主の状況

※2020年6月30日現在

株式数・株主数

発行済株式総数	24,566,447株
株主総数	16,170名

所有者別株主構成



大株主の状況

	株主名	所有株数	持株比率
1	株式会社コスモチャンネル	1,153,740	4.83%
2	株式会社IMAGICA GROUP	1,018,000	4.26%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	807,400	3.38%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	669,900	2.81%
5	フィールズ株式会社	479,660	2.01%
6	竹林 嘉浩	478,100	2.00%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	417,500	1.75%
8	資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）	411,200	1.72%
9	原 仁	400,000	1.68%
10	クレディ・スイス証券株式会社	340,500	1.43%

※持株比率は自己株式(691,252株)を控除して計算しております。

※株式会社コスモチャンネルの持株数には日本証券金融株式会社との株式貸借契約に基づく貸株320千株を含めて記載しております。

免責事項

当資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおりません。

かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従いまして、実際の業績はこの資料に記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、この資料の開示後において、かかる将来予想に関する記述を更新して義務を負うものではありません。

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
お問い合わせ窓口 (<http://aoityo.com/ja/contact.html>)